

武雄市新文化交流施設エリア管理運営計画策定委員会会議録

日時 令和5年10月24日(火) 9:30 ~11:00	場所 武雄市文化会館 大楠	出席 □委員(小坂智子氏、力武由美子氏、黒澤伸氏、古賀珠理氏、 田中友子氏、溝上剛氏、平川宣子氏、山口祐香氏、諸岡智恵氏) □松尾教育長 □事務局 こども教育部 文化課 新文化会館整備準備室 生涯学習課
1. 協議件名		第1回 武雄市新文化交流施設エリア管理運営計画策定委員会 ①武雄市新文化交流施設エリア整備基本計画について ②管理運営計画について ③市民意見聴取について

議事録

1. 開会・教育長挨拶

- ・昨年度の基本計画の中で、新たな文化を創造する機能、交流を生み出す機能、にぎわいを創出する機能を付加した、新文化交流施設エリアを整備している。
- ・管理運営計画の策定にむけて、将来を見据えた活発な議論をお願いしたい。

2. 委嘱状交付・委員紹介

- ・松尾教育長より10名の委員を代表して、小坂智子氏に委嘱状を交付。
- ・委員長、副委員長、顧問の選出について
委員長 小坂 智子氏 長崎県美術館館長
副委員長 力武由美子氏 公益財団法人佐世保地域文化事業財団 アルカス佐世保 参事
顧問 黒澤 伸氏 金沢芸術創造財団(元金沢21世紀美術館副館長) が就任。

3. 議事

①武雄市新文化交流施設エリア整備基本計画について

②管理運営計画について

事務局より説明を行った。

<出席者の意見>

- ・例えば人員の配置など策定した計画はその通りにしていく必要があるのか。
- ・設計と管理運営との連携と情報共有を図ることが必要と思われる。等

③市民意見聴取について

事務局より説明を行った。

<出席者の意見>

- ・ワークショップに文化団体からの出席が少なかった。お声がけをお願いしたい。

<その他出席者の意見>

- ・市内向け、日本中や世界中につながるような感覚を持った施設がいいのでは。市民が誇りに思う場所は市民にとっても大切。
- ・これまでのルールを変えることで使いやすくなったのが市民体育館。
- ・武雄はどういうまちで何ができるのか。文化的な主体性が刺激されるような計画になれば

いいなど。

- ・施設の使用料については使いやすい使用料に。利用しやすくすることでたくさんの方が利用し、文化会館周辺でもお金落としてもらうことで武雄の発展につながると思う。
- ・図書館・歴史資料館が観光のシンボルになっている。黒門を使って行き来できるようになれば図書館・歴史資料館から文化会館に向かうと思う。波及効果も生まれるのでは。
- ・アート遊具など文化・アートを楽しむ場としての整備も必要であると思う。

4. その他(事務局より)

- ・第2回の開催を12月下旬に予定。時間等について後日通知を行う。